

## 【設問 2】

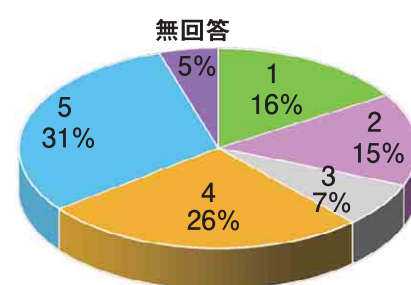
新庁舎建設の基本方針として最も重要と思うものに○をつけてください。[複数回答]

内 容	人 数	総数に占める割合
大規模な地震等の災害時にも防災拠点としての庁舎機能を維持できるよう高水準な耐震性能を確保していること。	447人	41%
少子高齢化、人口減少、市民のニーズの変化などに柔軟に対応するため、スペースの変更が容易にでき、長期間にわたって利用しやすいこと。	338人	31%
高齢者や障害者、子どもなど、誰もが駐車場から庁舎内部にスムーズに移動できるとともに、ちょうど良い高さの窓口カウンター、多目的トイレを整備するなど、わかりやすく使いやすいこと。	390人	36%
自然エネルギーの活用、省エネ型器具の採用など環境に配慮するとともに、維持管理が容易で、長寿命化が図られるなど、将来の財政負担が少ないこと。	315人	29%
人口減少や超高齢化社会に備えて、病院、公営住宅や公共交通機関の利便性を考慮し、歩いて暮らせる「コンパクトシティ」の核となること。	298人	27%
本庁舎は市の象徴となるため、華美な要素を排除しながら景観形成に十分配慮し、内壁材を一部秋田杉にするなど、地場産品も活用した市民が誇りを持てる造りであること。	189人	17%
比内庁舎、田代庁舎は、分庁舎の機能を維持し、入居する部署の入れ替えなど臨機応変に対応して有効利用を図る。	419人	38%

## 【設問 3】 新庁舎の位置について

本庁舎建設基本構想案で、新庁舎の建設候補地を現庁舎敷地及びその周辺敷地とし、建物の具体的な配置場所3か所を例示しています。3案のうちどれが最もよいとお考えですか。

内 容	人 数
1 配置例(1) 現在の市民体育館	175人
2 配置例(2) 現在の本庁舎と堀の間	163人
3 配置例(3) 現在の市民プール	79人
4 配置例(1)～(3)の中で詳細を更に検討して決定を	288人
5 現庁舎及びその周辺敷地でない、ほかの場所	333人
無回答	52人



## 【設問 4】 新庁舎の規模及び事業費について

本庁舎建設基本構想案では、26年後の市の人口を約5万6千人、本庁舎の職員数を330人と推計し、それまでの間は各分庁舎を使用しながら徐々に本庁機能を集約していくことを想定して、新庁舎の延床面積を約7千㎡、事業費を約35億円としています。このことについてどう考えますか。

内 容	人 数
1 この面積、事業費でよい	231人
2 面積を広くして、もっと早く1カ所に集約すべき	142人
3 事業費を縮小して、もっと財政負担を減らすべき	449人
4 わからない	182人
無回答	86人

